

2019年8月9日
株式会社日本政策金融公庫**農業経営アドバイザーが総勢5,200名超えに
～令和元年度前期(第29回)アドバイザー試験で205名が合格～**

日本政策金融公庫(略称:日本公庫)農林水産事業は、農業経営アドバイザーの令和元年度前期(第29回)研修・試験を行いました。今回の試験により、新たに205名が合格し、農業経営アドバイザー合格者の総数は全国で5,253名となりました。

○受験者数は402名

今回の農業経営アドバイザー研修・試験の受験者数は402名でした。試験(筆記及び面接)の成績などを8月2日開催の農業経営アドバイザー審査会に諮った結果、税理士・公認会計士34名、地方銀行などの金融機関職員50名、信連、農協職員71名、公庫職員16名、その他34名の計205名が合格(合格率51.0%)しました。

なお、今回の合格者を加えた全国の農業経営アドバイザー合格者の総数は5,253名となり、その内訳は、税理士・公認会計士1,101名、金融機関職員1,633名、信連、農協職員1,390名、公庫職員381名、その他748名となっています。

○農業経営者の幅広い要望に対応

農業経営アドバイザー制度は、「農業の特性を理解している税務、労務、マーケティングなどの専門家からアドバイスを受けたい」という農業経営者の要望を受けて、経営への総合的かつ的確なアドバイスを実践できる人材を育成するために創設したもので、専門的な研修を行ったうえで、試験を実施しています。

農業経営アドバイザーは、農業経営者から寄せられる幅広い要望に専門的かつ柔軟に対応して、経営発展を支援しています。

【ご案内】

次回、令和元年度後期(第30回)農業経営アドバイザー研修・試験は、令和元年8月19日から募集開始、11月11日～11月15日(会場:東京都内)に研修・試験の実施を予定しています。